

2020年12月14日  
日本銀行北九州支店

---

## 北九州・京築地区の金融経済概況

(2020年12月14日)

---

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/gaikyo/subgai.htm>)



## 1. 総論

北九州・京築地区の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にあるものの、安定したペースで持ち直している。12月短観（全産業）をみると、企業の業況判断は改善した。

最終需要の動向をみると、公共投資は、堅調に推移している。輸出は、持ち直している。設備投資は、弱含んでいる。個人消費は、全体としては弱い動きが続いているものの、持ち直している。住宅投資は、弱い動きとなっている。

こうした中で、生産は、持ち直している。雇用情勢をみると、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。

### 【前回との比較】

項目	前回	今回	
景気判断	新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にあるものの、経済活動再開の動きが拡がりをみせるもとの、持ち直している。	<u>新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にあるものの、安定したペースで持ち直している。</u>	
需要項目	公共投資	堅調に推移している。	堅調に推移している。
	輸出	弱い動きが続いているものの、持ち直しつつある。	<u>持ち直している。</u>
	設備投資	一部で弱い動きがみられるものの、横ばい圏内の動きとなっている。	<u>弱含んでいる。</u>
	個人消費	全体としては弱い動きが続いているものの、持ち直しつつある。	<u>全体としては弱い動きが続いているものの、持ち直している。</u>
	住宅投資	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。
生産	弱い動きが続いているものの、持ち直している。	<u>持ち直している。</u>	
雇用	労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。	労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。	

## 2. 需要項目別動向

公共投資は、堅調に推移している。

輸出は、持ち直している。

設備投資は、弱含んでいる。

12月短観における2020年度の設備投資は、前年を下回る計画となっている。

個人消費は、全体としては弱い動きが続いているものの、持ち直している。

食料品や日用品等の販売は引き続き堅調に推移しているほか、当地で発行されたプレミアム商品券による押し上げ効果も一部で見られている。一方で、飲食業や旅行・観光関連業種では、Go Toトラベル事業をはじめとする政府の各種支援事業等が下支えとなっているものの、足もとでは全国的な新型コロナウイルス感染症の再拡大による影響が懸念されるなど、引き続き厳しい状況にある。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

### 3. 生産

生産は、持ち直している。

#### ▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	着実に持ち直している。
	電炉	弱い動きとなっている。
化学		高水準で推移している。
セメント		弱い動きとなっている。
住設機器		持ち直している。
電気機械		横ばい圏内で推移している。
電子部品		持ち直している。
自動車		着実に持ち直している。

### 4. 雇用

雇用情勢をみると、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。

### 5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）は、前年を下回っている。

### 6. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きとなっている。

### 7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症の影響による法人資金需要の高まり等を背景に、前年を上回って推移している。

この間、貸出約定平均金利（都銀・地銀・地銀Ⅱ平均、総合<ストック・ベース>）は、低下傾向が続いている。

以上